

第30回岩倉定期演奏会



©Naoya Yamaguchi

メゾソプラノ/桜井万祐子*

歌姫、再び!

ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」序曲

ビゼー：歌劇「カルメン」より”ハバネラ””ジプシーの歌”*

サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より

”春は目覚めて””あなたの声に私の心は開く”*

ヘンデル：歌劇「セルセ」より“オン・ブラ・マイフ”*

ベートヴェン 交響曲 第7番 イ長調Op.92



指揮/古谷誠一(正指揮者)

2024年

7月14日(日) 開演 14:00
(開場 13:30)

アデリア総合体育文化センター
多目的ホール(岩倉市総合体育文化センター)

入場料/全席自由 4/19(金)発売

[一般] 2,500円
[U25(25歳以下)] 1,250円

入場時要身分証明書

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <https://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケット郵送対応可

インターネット購入はこちら▶



当団の会員様は会員割引価格でのご購入が可能(当団事務局及びチケットシステムでの購入時)

未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。やむを得ない事情で公演を中止、または公演内容を変更する場合がございます。

チケット取扱い

アデリア総合体育文化センター、岩倉市生涯学習センター、アピタパワー岩倉店、岩倉市役所6階生涯学習課、愛知芸術文化センタープレイガイド、岩倉市図書館

主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団

後援/愛知県教育委員会、岩倉市教育委員会

指揮／古谷誠一(正指揮者)

都立立川高等学校を経て、東京大学卒業。在学中から桐朋学園オーケストラ研究生(指揮専攻)として、指揮を秋山和慶、堤俊作、尾高忠明の各氏に、作曲・ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。東大オーケストラ、一橋大学オーケストラの指揮、NHK東京放送合唱団、早稲田大学グリークラブ等のピアノ伴奏を務める。

指揮者として二期会中四国支部のモーツァルト「魔笛」公演を指揮して活動を始める。以降、長門美保歌劇団の「チャルダッシュの女王」、日本バレエ協会での「パヤデルカ」「シェヘラザード」、日生劇場での東宝ミュージカル「マイ・フェア・レディ」など活動の場を広げている。

東京フィル、東京シティフィル、新日フィル、九州交響楽団、関西フィル、N響団友オケ、名古屋フィルなど指揮。1997年10月にはカーネギーホールにて、オペラ「日本の夜明け」(演奏会形式)をセント・ルークスオーケストラ・ニューヨークと共演。2003年10月には韓国初のオペラハウスにおいて、オープニングフェスティバル「マダム・バタフライ」を指揮。2005～2006年、ボローニャ歌劇場にて研修。2008年4月に馬山市立交響楽団を、5月にはブダペストでショルティ記念オーケストラを指揮。また春風亭小朝師匠と組んだ音楽会、松崎しげる、宝塚スターらとの共演も好評を博す。

合唱曲集、歌曲集など多数。現在、名古屋芸術大学名誉教授、セントラル愛知交響楽団正指揮者。



メゾ・ソプラノ／桜井万祐子

名古屋芸術大学声楽科を首席で卒業。2008年に渡伊、2015年国立ミラノ・ヴェルディ音楽院卒業。以降もミラノに拠点を置き、世界各地でコンサートやオペラ公演に出演している。2012年ルクセンブルク・ネイ・シュティンメン声楽コンクール第3位。

2009年にイタリアデビュー。2014年のイタリア・トル・デル・ラーゴのブッチーニ音楽祭で、「蝶々夫人」の続編として三枝成彰氏によって作曲された「Jr.バタフライ(伊語版)」において高い評価を得ている。これまでに、スペイン、ドイツ、日本(藤原歌劇団)にて「カルメン」タイトルロール、韓国、ドイツ、イタリアにて「蝶々夫人」スズキ、イタリア及び日本(藤原歌劇団)にて「イルトロヴァトーレ」アズチーナ等、メゾソプラノの主要な役で活躍。

更には、NHKナゴヤニューイヤーコンサート2019、ガーデングループPresentsオペラ歌手紅白対抗歌合戦、「全音楽界による音楽会」3.11チャリティーコンサート、「日本の歌の祭典」等、日本でも有数のコンサートに出演。また、ミラノ近郊のベッローニ劇場にて、2023年4月にコロナ禍での一時帰国を経て3年ぶりの凱旋リサイタルを行い、本場イタリアのオペラファンにも絶賛されている。

2015年よりミラノのジュエリーブランド「ダニエラ・デ・マルキ」からジュエリー提供を、2016年より小林栄子氏の手掛けるブランド「美・JAPON、美・EIKO」、並びに2023年より名古屋の伝統文化有松絞りの開祖「竹田嘉兵衛商店」より衣装提供を受けている。

藤原歌劇団正団員。愛知県岩倉市出身。



©Naoya Yamaguchi

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から名古屋出身の角田鋼亮が音楽監督に就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクターとして迎えている。

定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を取める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。



アデリア総合体育文化センター 多目的ホール ☎0587-66-2222

〒482-0035 岩倉市鈴井町下新田123番地

- ・名鉄犬山線「岩倉駅」下車、徒歩15分
- ・または岩倉駅より名鉄バス一宮線「西市」下車、徒歩4分

※駐車場251台。ただし、土日・祝日は、催し物がメインアリーナ(体育館)と文化ホールで重なることが多く、駐車場が混雑する場合がございます。乗り合わせての来館にご協力ください。